



伏見 よもやま かわらばん

2022
No.168
11・12月号

編集発行人
税理士法人
伏見会計事務所

〒420-0804
静岡市葵区竜南3丁目10-18
TEL (054) 246-2433 (代)
FAX (054) 246-9389
E-mail: kaikei@t-fushimi.co.jp
URL: http://www.t-fushimi.co.jp/



「円安相場はいつまで続く？」

このコーナーでは税務に関する様々な情報を提供して参ります。記事の内容についてご質問等ございましたら、下記の電話番号、もしくは担当者までお問い合わせ下さい。リクエスト等もお待ちしております。

☎ 054-246-2433

9月22日政府・日銀は、1998年6月以来、約24年ぶりに円買い・ドル売りの為替介入に踏み切りました。この日外国為替市場では、円相場は1ドル145円後半まで円安が進んでいました。インフレ対策で利上げを進める米国とゼロ金利政策を続ける日本との金利差によりドルが買われたことが大きな要因でした。

ウクライナ情勢による資源価格の高騰に加え、この円安による輸入品価格の上昇は物価にも反映し、賃金の上昇を伴わない物価高を招いており、個人の生活や企業の業績に影響が出始めています。

日銀は、新型コロナウイルス禍からの経済回復の途上にあるとみて中小企業向けの資金繰り支援を延長することを決め、引き続き金融緩和政策は当面続ける模様です。

円安の傾向は、短期的には各国との金利差による投機的要因にありますが、長期的視点でも日本の少子高齢化、人口減少社会による経済力の低下があり日本政府には少子化対策や国際競争力に勝てる新しい政策を打ち出して欲しいと思います。

〈最近の円相場推移〉

ここ数年は1ドル110円前後で推移していましたが、数ヶ月で一気に140円台半ばまで円安が進みました。

ドル／円相場

